

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	親子のがっこう			
○保護者評価実施期間	2025年 8月 1日 ~ 2025年 8月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	2025年 9月 1日 ~ 2025年 9月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 1日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全職員が子育て経験のある職員であり、10年以上の療育経験がある職員が常勤でいること。	個々に応じた具体的な助言をすることができるよう心がけています。	環境にあわせた具体的なアドバイスや助言ができるよう幅広い知識の習得できるよう他職種の意見を聞くことや研修等を実施していきます。
2	話がしやすい雰囲気があり、保護者様との距離が近くフレンドリーな関係性を築くことができている	お母さんだけでなく、お父さんが来られる家族も多く相談以外の話もするようしているところや、前回の話の続きなど話の内容を忘れないように努めていること。	理念でもあるように、保護者の方も含め笑顔になるお手伝いであったり、自分らしい子育て方法をみつけていったりできる場としてサポートしていきたいです。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者数が少ないこと	発達検査等が受けることができないこと、相談支援から繋がりにくい（同じ法人の事業所を紹介されることが多い）ところ。	保健師さんや保育園の先生と連携していく
2	まわりにお店屋さん等がないこと	部屋数が少なく、別室で待っていただくお部屋を提供することができていない。	いい機会なので、子どもの様子を観察してもらうこともいいことを伝えながら、保護者の趣味やお仕事など持参されてもよい環境を整えていきたいです。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		保護者等からの事業所評価の集計結果						
		公表日 2026/1/19						
		利用児童数 2025年8月1日～8月30日 (20名) 回収数 13						
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13					一緒に同席してくださる保護者の方が多いため、子どもが集中しやすい距離や運動時などで移動していただきながら狭い部屋の中でも活動に支障がないようスペースの確保を考えていきたいと思います。認知課題時は、小さな空間の集中しやすい部屋を提供したり、マット運動や鉄棒などをおこなうときは大きい部屋を使用できるよう予約をお取りするときに調整していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13					個別療育をメインにしているため、今後も子ども一人に対して職員1人を配置でけるようにしています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	2				運動をするときは靴下を脱ぐように声かけをするなど、安全に配慮した中での個別療育を実施できるよう今後も気付けていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	1				今後も感染を広げないように、使用した机や玩具など、特に口に入ってしまった玩具等は洗浄、消毒を徹底していきます。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1				引き続き、特性や成長に合わせ、また園の中での運動や操作などの状況に合わせて設定をおこなっていき、前もって練習していくことでお子様の自信につなげていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13					引き続き、支援の内容については保護者の方の話をききながら必要な部分の練習をしていきます。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					今後もニーズを把握するためにも保護者の方とのお話をする時間を大切にしています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12				1	一緒に療育を見てくださる保護者の方が多いので、その都度、家庭のこと、きょうだいの関係のこと、園のことなどの話を聞かせていただいているので、引き続き、生活の中からの必要な本人支援を考え、生活中でできることを増やしていくよう具体的な支援をおこなっていきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					目標に沿った内容を、細分化をすることでスマーチステップで達成に向けた支援プログラムを提供しています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13					個別支援計画に沿って練習しているため、固定化することは今後もありません。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	12				1	児童発達支援を利用しているお子様全員が保育園に所属されていることから、親子のがっこうとして地域との交流する機会は考えていません。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					契約時に説明をおこなうようにしています。また、本棚にいつでもみれるよう今後も置いておきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					個別支援計画を見せながらの口頭説明と支援内容を読んでいただいてから同意のサインをいただくよう今後もおこなっていきます。

保護者への説明等	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1	2		支援学校に入学する前に親子のがっこうで同意を得て話をする機会を設けるなどしたとがありました。今後も保護者の方の意向をききながら必要な家族支援を考えていきたいと思います。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13				保護者の方が一緒に療育の見学をしてくださる方が多いでの、今後も体調や昨日や今日あったことなどお聞きすることが多いので、今後も情報の共有をしっかりととしていきたいと思います。保護者の方から、家庭や園であったことなど積極的にお話をしてくれる方が多く、ありがとうございます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12		1		毎回おこなうように心がけています。今後もお話をする時間を療育の中で確保していきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13				引き続きお話をすることや情報を共有することを心がけていきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	5	6		別の事業所を一緒にご利用されている方や、同じ園に通われている方が同じ時間帯に重なったときは、一緒に活動することもあります。そういうたとえにお互いお話をされている保護者の方もおられます、基本的には個別療育を中心におこなっていますので、今後も保護者会や父母の会などを開催する予定はありません。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1			相談があるときはお子様に対応していない職員が聞く体制を整えていますが、お子さんに聞かれてたくない場合などがあるときはその都度伝えなければ、別日の相談も受け付けています。また、心理士が対応させていただくこともできますのでその都度相談いただければと思っています。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13				今後も実施した内容を書面で読んでいただくことに加えて、実施した内容の説明を毎回丁寧におこなっていきます。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	3	3		音楽療法等の行事の対象になるお子様に個々にお知らせの紙を配布しておりますが、基本的には個別療育が中心になるので、個別での連絡が今後もメインになってくると思われます。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1			なるべく同じクラスのお子様が当たらないように配慮していますが、保護者の方から了承をいただいている方に関しては、友だちと一緒に活動をおこなうこともプログラムの中で取り入れて今後も支援内容に沿った課題の設定をおこなっていきます。あらかじめお伝えいただいている方に関しては、接触をさけるよう予約をおとりしていますので、お知らせくださいれば助かります。
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	2	2		併設されている施設と一緒に訓練をおこなうので、全利用児に訓練への参加ができるていないので現状です。周知ができるように配慮していきます。
非常時等の対応	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	5	4		避難訓練は年2回、BCP訓練は1年に1回必ずおこなっています。周知がいきわたっていないようなので、契約時等に説明をおこなってまいります。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	2			基本的には、保護者の方がお部屋まで連れて車から連れてきてくださり、帰りも車まで連れて行ってくださっていますので、保護者の方への安全配慮をお願いしていきます。

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	2	1		契約時には必ず事故等が起きた場合は、併設されている病院での診察をお願いしておりますが、周知徹底をおこなっています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13				保護者との信頼関係が、お子様の安心感につながると考えていますので、いつでも話ができる関係性を作りたいと思っています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13				「はい」と回答いただけたことに感謝しております。今後も一人一人の子どもの育ちをしっかりとみつめ、こどもたちが自信が置てるようなお手伝いができるよう引き続きサポートしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				自分らしい子育てをみつけ、家族の笑顔が増えるお手伝いが満足度に繋がっていくと思っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果				
		公表日 2026/1/19				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2		体を動かせる部屋と、机上課題等で集中しやすい部屋と分けています。小さい部屋は、掲示や物をおかないよう配置しています。	利用児の課題に合わせて部屋を確保できるよう予約時に確認しながら気を付けていきたいと思います。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		1対1対応をしています。また、担当の職員以外にも療育中に母の話や相談ができる体制をとっています。	1対1対応の中で、子どもに関わっているため、保護者の相談にのることが難しいこともあるため、そういうときに手があいている職員が対応できるよう連携を図りたいと思います。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2		集中しやすい環境になるように机の位置など配慮しています。	来客がござったとき、電車が通った時など、外の様子が分かりやすい環境であるため声かけの入りやすい環境を整えていきたいと思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	2		消毒等、利用毎におこなっています。また、コロナ以降、マスクの着用も継続して感染予防に努めています。	引き続き、感染しないための予防をおこなっていきます。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2		基本的には、個々に個室で1家族がご利用できるようにしています。	きょうだいでご利用されている利用児が何家族かおられ、保護者の方が部屋を行き来してみてくださっています。どちらもみやすい位置での様子観察ができる場所等をお知らせしていきたいと思います。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		個別前、個別後職員間で、共有し、次の課題や支援方法について話をしています。	常勤職員が3名と少ないメリットとして情報を共有しやすいため、話ができる時間の確保に努めています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		その都度、親子のがっこうに対しての要望を言ってくださる保護者が多いことは、業務の改善につながっていると思います。	評価として業務の改善に努めています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		教材等の使用方法や改善方法等共有しやすい環境になっています。	意見の伝えやすい環境や雰囲気づくりに努めています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2		講師の先生や併設の職員さん等みていただく機会が多くあります。	外部評価をお願いする予定はありませんが、色々な立場の人からのご意見を参考に運営に努めています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		研修のお知らせが来た時は、全員に周知するようにしています。	近場である研修には全職員で受講しに行くことが今年度はできました。今後も幅広い知識をみにつけていくことができるよう積極的に研修を受講していきたいと思います。	
児童発達支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2		支援プログラムは個々のニーズや発達特性に合わせて支援方法を考えています。	ホームページで公表しています。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	2		保護者のニーズからできることを考えることをしています。	保護者のニーズに合わせた目標設定の中で、課題を細分化し、分かりやすい計画を作成できるよう今後も努めています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		職員全員で話しあえる機会が多いため共通した支援を提供できています。	関わる職員間で共有した計画作成となるよう意見を聞くことを今後も配慮していきます。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		再評価の時の意見を職員から聞き取りをして、保護者に伝え次の計画の目標を保護者の意見と職員からの意見をまとめ、職員での会議をおこない目標をみんなで考える時間を作っています。	ニーズに合わせた、子ども一人一人に合わせた支援を考えています。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		フォーマルなアセスメント用紙を活用していませんが、日々の行動観察では、必要な行動のメモなどおこなっています。	SM等の導入を考えています。	

適切な支援の提供	16 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	個別支援計画の中には、本人支援を中心におこなっていますが、毎回ご利用時に必要なご家族の相談、ライフステージの変わり目の相談などにのることができます。	本人支援は具体的に分かりやすく表記するようにこころがけながら、日々の相談に今後も載ができる信頼関係の構築を図っています。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	子ども一人に対して2人の職員が関わることが多いため、子どもの特性に合わせて時間配分や課題の内容を話し合いながらおこなっています。	小人数の事業所の良さを活かしていくようチームワークを大切に支関わっていきます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	個別療育なため、活動プログラムが固定化することはできませんが、ストレッチなどの体操は毎回おこなっています。	今後も必要な課題を子ども一人一人に合わせてプログラムを提供していくことができるようにしていきます。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2	まずは、個別療育の中でしっかりと聞く力や応じる力を身につけていきながら小グループの中での指示理解や集団の流れに合わせていく集団活動場面を提供することができています。	基本的には個別療育中心ですが、就学前の少人数のグループやことば音楽活動の集団活動など、お子様に必要な集団を今後も提供していきます。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	少ない職員の良さを活かして、職員同士での話し合いはしっかりとできるためチームで連携した支援が提供できています。	今後も何をするのか打ち合わせや、関わり方の共通理解のもと支援を提供していくことができるようになります。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	職員数が少ないことのメリットを活かして、支援後の振り返りや次回の支援内容について話すことができています。	職員間での情報の共有は今後も丁寧にしっかりとおこなっています。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	日々の記録は保護者の方にもみていただき、必要があればコピーして渡し、様子の共有を図るようになります。	今後も支援の検証や改善につながるよう、また、保護者の方や園の先生等がみられてもわかるような表記に心かけていきます。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	必ず半年に1回は再評価をおこない関わっている職員全員からの意見から次回の個別支援計画に反映できるようにしています。	引き続き丁寧なモニタリングをおこない、保護者の方にも再評価で行った意見等をお伝えしながら次回の計画作成につなげていきます。
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	日々の様子の振り返りや状況の確認ができることで、児童発達支援管理責任者が参画しています。	日頃からお子様一人一人の状況の把握をおこたらず、担当者等や保護者の方からの話を聞くことをしっかりとやっていきたいと思います。
関係機関や保護者との連携	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	子ども家庭相談員の方や、保育園の先生に相談できる場所が少しずつ増えてきたことで、受給者証では保護者からの相談等も増えてきました。	地域の関係機関との連携を図りながら、地域の中で名前が浸透していくよう、「相談するならここ」といってもらえるような事業所を目指していきます。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	保育園や学校行事に合わせて利用日を調整できるようにし、保育園や小学校を主体として日々生活できる環境を整えています。また、個別支援計画を保育園や小学校に渡してもらうようにしています。	支援の共有ができる関係性を作ることができるように日々相互理解できる関係性を考えています。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	支援学校は毎年情報共有を3月末におこなっています。また、今年は初めて小学校の1校と療育内容をお伝えして、支援の必要な部分を入学前にお知らせるすることができました。	小学校の特別支援コーディネーターとの関係の構築を目標に、小学校への引継ぎができる機関を増やしていきたいと思います。
	(28~30は、センターのみ回答)			
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	(31は、事業所のみ回答)		スーパーバイズや助言等を受ける機会はありませんが、自立支援協議会の中で子ども部会	地域の中で相談できる場所として親子のがっこうが役割を果たせるような事業所になって

	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	をつくろうと思っています。	いけばいいなど知識や支援の向上を目指していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	全利用児がどこかの園に所属しているため、個別療育を中心におこなっています。事業所としては、生活発表会や運動会など園の行事を見に行かせていただいています。	児童発達支援では、個別療育が中心なため、今後も地域との交流は考えていませんが、保護者の方から依頼があれば、検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	保護者の方との日々の生活の様子や、園での様子をお話していただくことや相談をしてくださる保護者の方が多いため、共通理解が図りやすくなっていると思っています。	おうちの状況や園の状況を細かく教えてくださっているのでとても助かっています。今後も相談しやすい雰囲気を作り共有できる環境に配慮していきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	ペアレントトレーニング・・・等公な名前でしていませんが、家の困り事からまずは、職員が取り組み、うまくいった事例で支援方法をお伝えし、家庭でも取り組んでもらうよう汎化させています。	家族支援としてアドバイスは引き続きおこなっていきますが、保護者の負担にならないように配慮しながらおこなっていきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	契約時には必ずお時間を持って説明をするようにしています。支援プログラムについては、個々で提供する療育内容が違ってくるので、個別支援計画で丁寧に説明するように心がけています。	分かりやすい、丁寧な説明をこころがけていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	保護者の方との日々の生活の様子や、園での様子をお話していただくことや相談をしてくださる保護者の方が多いため、お子様の全体像がみえやすく、思いやニーズをくみ取りやすいと考えています。	児童発達支援計画の中にしっかりと思いやりにニーズに基づいて作成していくことができるよう今後もお話を大切にしていきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	2	お子様の様子など例をだしながら分かりやすい説明をこころがけています。	今後も丁寧な説明をこころがけていきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	毎回利用時に、保護者の方と話ができるのが親子のがっこうのメリットだと感じています。前回話をしたことからの状況の確認ができるごと(病院や園の行事、家庭でのお出かけの話など)から、子どもさんの様子を把握しやすくなっています。	子育てのうれしかったことや、悩みなど話ができる環境をつくっていくことで、親子で成長をしていくお手伝いを今後もしていきたいと思っています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	同じ支援学校にいく年長児や、同じ悩みを持たれている保護者同士を保護者からの意向があるときは、お話ができる会をセッティングさせていただいたり、仲介したりすることで交流されている保護者の方もいらっしゃいます。	基本的には、個人情報の観点から妹局的に保護者会等の開催はしていませんが、保護者の方からの相談等の中で出てきた交流等の希望に沿って支援をしていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	職員全員がどの相談にものれるよう保護者の悩みを共有することができています。	色々な悩みに対応できるスキルを今後も持ち合わせながら、小規模な事業所の良さを活かしていきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	ホームページでお知らせなどを定期的に更新するようにしています。行事などは、お知らせの紙や口頭、またはメールで個人とのやりとりの中でお伝えするようにしています。	伝え忘れないようにチェックをするなど全職員で把握できるよう今後も発信していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	同じ園の利用児や、保護者の方から聞いた話から、予約をするときに気を付けるようにしています。	保護者の意向やご意見をお聞きしながら、予約を取るさいに全職員で周知し、十分留意しながら予約をお取りするように徹底していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	口頭で伝えることでもメモで渡すことや、予約日が近づいてくるとメールでお知らせすることに加え、何かあったときはいつでもメールをいただけるような体制をとっています。	相手に分かりやすい伝え方ができるよう今後も配慮していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	2	地域住民を招待することはまだありませんが、別の事業所からの見学や、町のこども食堂と連携することができています。	色々な人が親子のがっこうを知っていただけよう地域に開かれた事業所を目指していきます。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	全職員で会議をしてマニュアルの周知徹底を図っています。	保護者の方にしっかりと周知できるよう努めてまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	机上と実地訓練と毎年おこなっています。	災害が発生したときにむけてしっかりと備えをしていきたいと思っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	2	契約前の見学の時や契約時に必ず把握するようにし、フェイスシートに書き込んでもらうようにしています。また、保護者の方が医師より意見書を書いてきてくださっている方もいらっしゃいます。	ありがたいことに病院が併設してありますので、重心のお子様のご利用日は、病院が開いている日時でお願いしていますが、今後も保護者の方には協力を求めていきたいと考えています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	親子のがっこうで食事をする場面はほぼありませんが、食べる場合は保護者の方に持参いただくようお願いしています。	今後も基本的には食事をすることはないと考えています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	危険な場所等がないか日々環境を整えています。	今後も送迎等は考えていません。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	基本的には保護者同伴での療育なので、保護者の目の届く範囲でお子様を見守っています。	名前の由来通り、今後も親子の一緒の事業所でありたいと思っています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	すぐに共有し話をし、改善策を考えることができ早急な対応ができていると思います。	同じ事例がでないように、起こる前に気づける職員の育成を目指していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	今年度は、全職員で外部研修を受けにいくことができました。	積極的に今後も研修に参加できるような体制を作っていきたいと考えています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行ふかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	まだ、拘束等を行った事例がないですが、行う場合には、マニュアルに沿って対応していきたいと考えています。	保護者の方と意志の疎通や連携、共通理解を大切におこなっています。

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	親子のがっこう		
○保護者評価実施期間	2025年 8月 1日 ~ 2025年 9月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日 ~ 2025年 10月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育を希望されてこられる方が多い	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や子どもの困りごとに対応できる知識や柔軟性を持ち合わせている職員が多いこと。 ・常勤職員は療育に携わっている機関が10年以上の職員ばかり配置できていること。 	知識や技術を高めていくこと。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用できる回数が少ないこと（基本的には月1回）	事業所の理念として早期療育をかけているので、児童発達支援に力をいれていきたいため、開所日がすくなくなってしまっている。	どこも利用できていない子供さんに枠をあけておきたいことや併設の病院からの紹介の枠をあけておくことが必要ですが、個別支援計画の目標に沿って終了を目指して取り組んでいきます。
2	送迎がない	車の所有（駐車場問題） 保護者が、フルで働いている人が増える	小学校に入学後指摘される方や、4年生頃になり、不登校になり相談にこられるかたや、学習についていけなくなり利用を検討されはじめる保護者が多い。早期療育の重要性をもと訴えていきたい。
3			

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	親子のがっこう	公表日	2026/1/19	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	部屋の数に応じた利用人数で行っています。また、課題の内容に応じた大きさの部屋を使用しています。自転車の練習の要望があり、1階の小児科の駐車場の空スペースで行っており、外の活動のスペースが限られているのが現状です。	保護者の方のニーズにこたえることができるよう寄り添っていきたいと考えています。そのため、色々な工夫をこらし満足いただける支援を提供していきます。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	主に個別療育で行っているため、一対一の対応をさせて頂いています。集団療育に於いてもお子様の人数に対して一人の職員配置になるよう行っています。	保護者のニーズが個別療育を希望される方が多いことを受け、引き続き丁寧な個別療育を実施できる環境を整えていきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	セラピーマットを床に敷いて、転倒時等の怪我防止のため配慮しています。重心のお子様が利用されるときはエレベータを使用するなど保護者の方の負担を減らしていけるよう対応しています。	利用児に合わせた環境の設定ができるよう適切な支援につながるよう、分かりやすい構造化された環境を提供していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	療育終了後には机や椅子、課題で使用した玩具などを、感染防止のため消毒しています。毎日の掃除の時間を設定して全職員で清潔な環境を提供できるように心がけています。	コロナ後、消毒や換気、マスクの着用等おこない感染防止につとめています。今後も継続しておこなっていく予定です。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	部屋数は限られていますが、部屋を仕切り版で区切り、視覚的に集中して活動しやすい空間の確保に努めています。	お子様の課題に合わせてお部屋の提供を今後もおこなってまいります。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	全職員でお子様の課題時の様子や、次回の課題の設定について共有することができる環境作りに努めています。	月1回のご利用で間が空いてしまうため、しっかりと把握するよう今後も努めています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	保護者様から頂いた要望や意見等を全職員で共有して、貴重な意見にお応えできるように心がけています。	貴重なご意見をもとに、業務の改善につとめてまいります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	担当の業務内容が分かりやすいように表にしていくことや、日々気づいたことを提案し取り入れができる環境がでできていることで、業務内容の改善に努めています。	職員同士で伝えあうことや話し合うことを大切にできる関係性を今後も大切にしていきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	多くの関係機関の方や、外部講師の方に毎月来ていただき、貴重な意見を頂いており、風通しの良い環境となっています。	必要があれば、外部での評価をお願いしていくと考へております。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	研修に参加した内容を事業所研修として、参加できなかった職員と共有することで資質の向上を図ることを心がけています。	資質の向上が図れるよう、積極的に研修等への受講を促していきます。
支援計画	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	支援計画の目標や、保護者様からの要望をお聞きしてプログラムを作成しています。また、活動を自由に見学して頂ける環境にあるため、保護者にプログラム内容を理解して頂ける環境だと感じています。	5領域に分けた支援プログラム等はホームページに掲載しておりますが、その中から一人一人のお子様にあった支援内容をしっかりと保護者の方に伝えていくことができるよう努めています。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2	自由に活動を見学していただける環境であるため、保護者のニーズを聞き取りやすい環境だと感じています。また親子のがっこうの利用は基本的に月1回の方が多く、聞き取ったニーズを次のご利用時に取り入れができるように努めています。	月1回でも満足いただける支援を提供できるよう職員の資質の向上を目指していきます。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	担当のお子様について多職種で話し合う機会が多く、専門的な支援方法を教えてもらうことや、相談できる環境があると感じています。	月1回の利用だからこそ子どもの成長が見えることもあったり、変化に気づきやすい場合もあるので、今後もしっかりと寄り添った支援を提供していきます。

適切な支援の提供	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		関わっている職員全員で個別支援計画の案を考えることができていて、全職員の意見が反映された計画となっています。	今後も計画に沿った支援をおこなうことができるよう職員間での共有を大切にしていきます。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		検査結果などを見せていただきながら日々の行動観察の様子を大切にアセスメントするようにしています。	SMなどのフォーマルなアセスメントの導入を考えています。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2		家族に関することや、ライフステージの変わり目などの相談等の色々な相談に対応することができます。また、必要があれば、地域につなぐ支援もできています。そのため、個別支援計画には本人支援を中心とした具体的な支援内容を記載しています。	幅広い支援ができるよう職員の質の向上を目指していきます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2		基本的には、個別療育なので、個々の教材を子ども一人一人に合わせて立案していますが異職種が関わる場合は、時間の区分けや関わる順番などを子どもに合わせてプログラムを立てています。	発達特性に合わせた活動の順番等を、子どもの状況に合わせて臨機応変に対応できるよう職員の質の向上を目指していきます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2		活動が固定化することはありません。また、目標の達成から、地域につなげていくことや家庭や学校生活に汎化していくことができるよう支援しています。	地域につながる支援を目指して活動内容を考えて実施していきます。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2		保護者の聞き取りや、職員の評価から必要があれば目標の近いお子様同士での集団（2人）をおこなっています。現在利用されているお子様に関しては個別療育での丁寧な関わりが必要なお子様が多いです。	必要に応じた支援の方法を考えながら、一番適した支援方法を提供できるように個別支援計画に反映していきます。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		2人で関わる場合は事前に時間区分や関わる順番、共通の声かけなどを確認しています。	職員同士でのシミュレーションや共通の関わり方等の認識の確認など、チームでの連携を大切に今後も支援に携わっていきます。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		1人で対応する個別場面でも、次回の療育の改善方法や成長を振り返ることができます。全職員にこども一人一人の様子を共有できていることが親子のがっこうのいいところだと思っています。	支援の前後での話し合いを今後も大切にしていきます。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2		初めておこなった課題をカルテで保管し、今後の支援の改善や達成への検証をおこなうことができるようになっていることや、日々の様子をカルテで記載し、保護者の方にも共有してもらっています。	次につながる支援の検証をしっかりとおこなっていきます。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		必ず半年に1回はおこなっています。保護者、関わっている職員の意見を聞いて次の個別支援に反映させています。	しっかりと話を聞いてニーズに基づいた支援計画となるように適切な見直しをおこなっていきます。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	2		自立支援としてのできることを増やしていくを中心におこなっていきますが、その中で、手先操作をしながら製作活動をしたり、地域交流、余暇支援を子どもの必要な発達支援を提供しておこなっています。	ガイドラインに基づきながら、子ども一人一人に合わせた必要な支援を提供していくことができるよう配慮していきます。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2		自分で決めることができる場面（シール帳の絵など）を多く提供できるよう工夫しています。	自己肯定感を高めていくことができるような環境を今後も提供していきます。
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		全利用児の状況を職員間全員で共有しているので、誰でもいくことができますが、基本的には、児童発達支援管理者が参加しております。	今後も全利用児の状況をみんなで把握し、誰でもいつでも対応できるように小さい事業所のメリットを最大限に活かしていきたいと思っています。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		重心のお子様は病院が併設しているので、安心して利用いただけると感じています。病院の受診が可能な時間帯で利用をお願いしています。また、受給者証をお持ちでない地域の不登校児の相談や対応等も行政と連携しておこなうことができています。	地域の色々なところに事業所を知ってもらえることができるよう連携や協力をしていきながら、宣伝活動をしていきます。

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	送迎等がないので、学校と直接連絡等を取る機会はありませんが、個別支援計画をお母さん経由で渡してもらうようお願いしています。	個別支援計画を小学校に保管してあるサポートファイルに綴じてもらえるよう保護者の方にコピーをお渡ししていくことを徹底しています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	児童発達支援を利用してくださいたの方のフォローで開所しているのでそのままご利用いただいている方がほとんどです。また、放課後等デイサービスからの新規の利用の方に関しては、初めて受給者証を取得していただく方が多くいらっしゃいますので、就学前のアセスメントを丁寧におこなっています。	保護者の方や相談支援事業所の方と連携を図りながら理解に努めています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	個別支援計画に沿って目標が達成になってくる、ご利用期間が2~3年の方が多いため、大人のサービスへ移行する前に終了になっています。	終了後5年間はカルテの保管をしておりますので、必要であれば情報の提供をさせていただきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	今年度は職員研修も兼ねてセンターではありませんが、センター的な役割も果たされている地域と連携された事業所への見学を2事業所させていただき、職員の意欲の向上や意見交換など充実した研修機会となりました。	必要に応じて地域のセンターとも連携を図っていきたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	今年度は初めて、地域の子ども食堂へいき、一緒に活動させていただきました。	ご要望があれば、来年度も引き続き子ども食堂への参加を考えていきたいと思います。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2	積極的に声をかけさせていただき、子どもの部会も先導して作っていきたいと動いております。	過ごしやすい地域や必要なサービスの構築等地域へのアプローチを今後もしていきたいと思っています。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	1か月に1回のご利用の方が多いため、1か月の様子を保護者の方と話をすることが必然になってくるため、しっかりとお話を聞く時間を設け状況の把握をおこなっています。	今後も保護者の方とお話をする時間を大切にしっかりと傾聴していくことで課題の整理であったり、状況の理解をしていき発達に合わせて支援につなげていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	個別療育の中で職員がまずは取り組んでみて、うまくできた方法を見ていただき、ご家庭でも実践していただくようにしています。	「ペアレントトレーニング」といったことばで今後もお伝えしていくことはありませんが、親子での学ぶ場所が「親子のがっこう」のコンセプトでありますので、子どもも親も過ごしやすい環境を作っていくことができるよお手伝いさせていただきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	契約時には書面をみながら口頭での説明をおこなっています。	丁寧な説明をこころがけていきます。
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	個別支援計画には、子どもや保護者のご意見を記入する欄を設け、ご家族の意向を必ず伺うようにしています。	今後も丁寧な面談の中で、ご家族の意向を聞き取り、個別支援計画に反映していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	2	書面を見せながら口頭での説明をするようにし、同意をいただいております。	今後も保護者の方から同意をいただき、支援内容の丁寧な説明をこころがけていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	小学校になると、本人に聞こえない場所での相談も増えてくるため、その都度、保護者のみで別日にきていただくことや、環境に配慮したり、メールや電話での相談にのるなど対応させていただいております。	色々な悩みに対応できるスキルをもって対応できるように今後も研修や勉学に励んでいきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	保護者よりご希望があれば、同じ学校に通っているお子様同士で同じ時間帯や前後にするなど、話ができる場をつくるように配慮しています。	保護者会や交流会等の希望があれば検討していきたいと思います。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	何か気になることや、対応してほしいことなどがあれば、その都度保護者の方からお伝えくださっている方が多いため、苦情になることがないのだと考えています。	苦情になる前に対応できるように配慮していきたいと考えておりますが、そうなる前に保護者の方との信頼関係をしっかりとつくる人材を育てていきます。

寺	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	ホームページで、土曜日の開所日や、平日のお休みの日をお伝えするようにしています。行事等に際しては、該当するお子様に書面でお知らせしたり、出欠の連絡がない方に再度口頭でお伝えしたり抜け忘れないように心がけています。	活動の概要に関しましては、個々で活動内容が違うこと、個人情報の観点から控えさせていただきます。掲示等、保護者の方に必要な情報を発信していくようにしていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	同じ学校等の情報から同じ時間帯に重ならないように配慮しながら予約をおとりするようにしています。	今後も個人情報の取り扱いに気を付けながら運営をしていきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	書面や口頭、メールを使用しながら疎通やすい方法でのお知らせに心がけています。	利用者に伝わりやすいお話の仕方やご説明を今後も心がけていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	別事業所の方が見学や実習に来られる方や、不登校のお子様が遊びに来られることなど、地域への浸透が少しずつできてきていると感じています。	地域の方に名前や事業が周知してもらえるよう事業運営をしていきたいです。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	マニュアルに沿って訓練や研修をおこなっています。	保護者の方には、訓練の日にご利用がないと訓練に参加していただけないため、今後は訓練日を掲示するなどしながらお知らせしていきます。
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	BCPに沿った備えや避難訓練や研修の機会を1年に1回はおこなうようにしています。	今後も必ず1年に1回はおこなえる体制をつくっていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	2	契約時や契約前の見学時に確認をおこなっています。服薬状況等は来所時に確認するようになります。また、ご利用後発症された方に関しては医療の指示書をご持参くださっています。	今後も、こどもの状況をしっかりと把握できるよう来所される度に服薬変更などのお話を聞かせていただくよう配慮していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	食事をすることがほとんどないのですが、アレルギーについての聞き取りはおこなっています。	食事動作訓練を行う時は、今後も保護者の方にもってきていただくことや、ご家族に了承を得たお菓子を使用するように気を付けていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	段差等部屋の環境には気を付けています。	来年度も送迎をする予定はありません。安全面での管理は怠らずに実施していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	保護者の方と一緒に療育参加をしていただいているので、きょうだいの安全面については保護者の方にお願いをしています。	保護者の方が一緒にお部屋の中で子どもの様子をみてくださっている状況を今後も続けていきたいと考えています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	すぐに危険な場面を共有するようにし、改善を図っています。	今後もヒヤリハットからの学びを大切に次に活かしていくことができるよう共有することに重点をおいていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	研修を必ず1年に1回はおこなっています。また、保護者の方が見てくださっている中での療育なので、虐待場面がおこることはありません。	虐待となりえる場面を想定しながら今後も研修の機会を確保していきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	まだ、身体拘束になったケースはありませんが、マニュアルに沿って進めていきたいとおもいます。	保護者の方との話し合いをしっかりとおこない同意のもとで実施していけるよう配慮していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	親子のがっこう
------	---------

公表日 年月日

利用児童数 20名

回収数 13名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13				なし	体を使った運動を行う部屋と、机上学習(集中できる小さい部屋)と用意しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1		1	なし	基本的に個別なので1対1での利用となっています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	3			なし	子どもに合わせて使う教材のみを出すようにしどのを減らし集中できる環境を整えるようにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13				なし	部屋の温度があがりづらく、寒さ対策として新たに電気マット等購入しました。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13				なし	1か月に1回の利用となっているため、1か月の様子の聞き取りを丁寧におこない必要な支援につなげていくようにしています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13				なし	おおまかにプログラムの中からひとりひとり違った支援を提供しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	13				なし	毎回利用時に丁寧な聞き取りや保護者の悩み等をお聞きすることで個別支援計画を作成するときの意見として反映しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12			1	なし	移行支援に移る前に終了になる方が多いこと。家族支援は必ず毎回行っているため、特記部分に記載しています。具体的な支援内容は本人支援を具体的に記入しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12			1	なし	計画に沿った支援をおこなっています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12			1	なし	計画に沿った支援内容なため、固定することはありません。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	1	4	なし	計画の中で必要なお子様のみにお声かけさせていただき、集団活動として子ども食堂に参加させていただきました。
保護者へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13				なし	契約時に説明をおこなっております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13				なし	書面を見せながらの口頭説明をおこなっています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2	1	2	なし	家族でできる支援をそれぞれに考えていますので全体にペアレントトレーニングという名目でお伝えすることはありません。また、研修会の情報等は、掲示板に貼ってお知らせはしています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13				なし	毎回、子どもの様子観察や家庭や小学校での様子をお聞きするようにしています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13				なし	毎回療育の振り返りをおこなうのでそのときに困り事やその他の相談等にのらせています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13				なし	一緒に子育てをしている気持ちです。全員お母さん職員などで共感はしやすいと感じています。

の説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	2	2	5	なし	個別療育を希望されている方がほほなので、交流する機会を定期的に持つことは今のところしていませんが、個別の前後で、仲良いご家庭同士（事前に聞き取りをおこなっている保護者同士のみ）が話できるよう配慮して予約をお取りすることはしています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11			2	なし	わざわざ、相談に申し入れをおこなわれる保護者の方はいらっしゃらず、相談事はその日に対応し、いつでも相談の受け入れができる状況です。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12			1	なし	書面や難しい時はメールや電話で伝えたり、保護者の方のご希望に合わせて伝達しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	3		4	なし	ホームページで閉所日等の更新をおこなっていますが、確認事項等は直接保護者の方とすることが多いです。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13				なし	利用日の前後等での同じ小学校等での配慮はしています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			3	なし	マニュアル等は契約の時にお伝えするようしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1		4	なし	定期的に併設されている、病院や介護施設と合同でおこなっております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			3	なし	送迎は今後も予定がありません。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9			4	なし	まだ、実際に事故発生事案がありませんが、病院と連携していくよう体制を整えています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12			1	なし	何をするのか理解して来所されているので、やることや見通しがついて来所されていると思っています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12			1	なし	目的をもっての来所（こうなりたい、ができるようになりたい等）となるような場所であります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				なし	こどもも、保護者も毎回何かを得られる場所であります。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	親子のがっこう		
○保護者評価実施期間		R7年8月1日	～ R7年8月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間		R7年10月1日	～ R7年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間		R7年8月1日	～ R7年8月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2	(回答数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	R7年11月15日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援、助言を行うことができている。	作業療法士や公認心理士が訪問支援員として訪問し、専門的な視点から分かることを伝えるようにしています。	集団の中で先生方ができる声掛けや環境づくりなど、より具体的に分かりやすく提案できるようにしていきます。
2	必要なときにこどもの状況を保護者や訪問先と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができている。	対象時が全員、児童発達支援、放課後等デイサービスでの個別療育を利用しているため、日頃から、保護者の方と話をする時間を作り、園や学校での様子や困り感を伺うようにしています。	小学校への訪問時には事前に学校での取り組みや見学場面の選定などを行い、訪問時間を有効に使うことができるようになります。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問できる日時の枠が少なく、頻度を高めることができ難しい。	事業所が小規模なため、職員数を増やすことができないため。	こどもの状況や訪問先でのニーズに合わせ、非常勤職員と日程を調整し、訪問できるようにしていきます。
2	訪問の開始や終了、頻度について関係機関と話し合う機会が少ない。	保護者や訪問先とはその都度話をし連携できているが、他機関からの意見を伺う機会がないため。	医師からの助言があった時は保健師と連絡をとることや、相談支援事業所の計画時に確認をするなど、共通理解を増やしていきます。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	親子のがっこう	公表日	2026/1/19				
				利用児童数 2025/8/1~2025/8/30 回収数 8			
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4	2		2		こちらの教材を持参していく場合に保護者の方にどのような物を持参したのは後でお伝えすることになりますが、持参しなかったときには保護者の方に伝えないので、「わからない」等の回答にならないと考えられます。訪問の目的を保護者の方にきちんとお伝えしていくよういたします。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	6			2		保護者の部屋の中での着替え動作であったり、トイレ動作等の練習をする場合は友達等が見えない時間帯に練習をさせていただくよう、今後も園にお願いをしていきます。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	7	1				どちらともいえない回答された方が1名いらっしゃるので、説明を十分におこなっていきます。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	7		1			園の行事等で保護者の方への相談より優先で決めていただくなことが多いですが、訪問の日時等はお伝えしていますが、より細かくお伝えしていきます。
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	7			1		今のところ名のみしか訪問に行く職員がいないため、職員の知識と経験を高め、ご希望の支援が提供できるようにしていきます。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8					引き続き、発達に即した合理的配慮の中での支援方法を模索していきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8					引き続き、子どもと保護者のニーズを聞き取って課題の分析をおこなっていきます。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	7			1		園の先生の意向よりは、保護者の意向を尊重していますが、園の先生から「こうなってほしい」「こんなときはどうする？」に対応してその都度対応を今後もしていきたいと思っています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7			1		何故、訪問に行ってほしいのか…保護者の方からのニーズを踏まえた上で計画を作成できるようこころがけています。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					引き続き、計画に沿った支援を行ってまいります。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	7					園の行事や時間帯など迷惑にならないよう今後も園の先生にお伺いしながら訪問を実施していきたいと考えています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7			1		契約時にお伝えしていますが、1名どちらともいえない回答されていますので、丁寧な説明をこころがけていきます。
保護者への説明等	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7			1		支援内容の説明時には、記録と口頭で説明しますが、口頭内容の中では画面目標に触れることがあります。毎回計画を示していませんが、コピーをお渡してしていきますのでご確認いただけたらと思います。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	3	2		3		掲示を事業所内でしていますが、口頭でご案内することはしないので目にとまりやすい掲示の仕方を工夫していきます。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができると思っていますか。	8					今後も保護者の方と情報の共有を図ることを大切に図っていきたいと思います。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7			1		毎回お話しする機会を設定しますが、「どちらともいえない」と回答された方が1名いらっしゃったので、対応策がうまくいくよう検討することをこころがけていきたいと考えております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					今後も保護者の方の意向やニーズをしっかりとみて支援をしていきたいと考えています。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7				無回答 1	いつも相談にのることができますですが、相談しにくい雰囲気があるようでしたら改善していきたいと思います。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7				無回答 1	課題の内容の報告だけではなく、園や家庭の様子等色々なことをお伺いさせていただきながら、課題の設定にも役立っておりますので、色々な意見やこんなことをしてほしい…等積極的に話を聞いていただける雰囲気を作っていくたらと思っています。
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	7				無回答 1	園の中でできる支援方法を考えています。

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	6	1			無回答 1	保護者の方を含めた担当者会議等がないため、保護者の方が直接やりとりをしている内容を見ることはないと思いますが、話をした内容はお伝えするように心がけています。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	7				無回答 1	記録と口頭での説明を今後も丁寧におこなっていきます。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	3		1	無回答 1	ホームページでみていただくようにしていますが、保護者の方にお知らせを徹底していきたいと思います。
	24	個人情報の取り扱いに十分に留意されていると思いますか。	6				無回答 1	個人情報の取り扱いに関して十分留意していきます。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	5			2	無回答 1	大雨や大雪など警報がでた場合は園に直接確認し保護者の方にはその後お伝えするようにしていますが、保護者の方が安心できるよう分かりやすく説明していきます。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6			1	無回答 1	今後も園の中での安全に気を配りながら関わっていけるよう立ち位置等をつけていきます。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	6			1	無回答 1	嫌がっているお子様がおられましたら、相談してくださいよと頼んでいます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	7				無回答 1	満足していただける支援を今後も提供してまいります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

年 月 日

親子のがっこう

利用児童数

年 月 日 回収数 2

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。				ご意見や説明もとても分かりやすくアドバイスをいただけて保育に活かせています	保育場面の中での声かけの方法やタイミングなどを振り返りながら、具体的に先生が取り入れられそうな方法と一緒に考えていくたらと思っています。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。				知識や技術など引き出しも多く勉強させていただくことが多いです	園や小学校で活用できそうな支援を考えいくことが必要だと思います。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。				療育の様子であったり園での集団の様子からいろいろ教えて頂いています。	園の中で、先生が負担にならない支援を提案できるよう今後も園の先生の立場になって支援方法を考えていきます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。				相談ができないことが一番なので課題や困りごとが解決されています。	今後も良好な関係性を保つことができるようにお話を聞かせていただけたらと思っています。
5	事業所からの支援に満足していますか。				大変満足しています。	今後も満足いただける支援になるよう研鑽していきます。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		

事業所における自己評価結果						
事業所名		親子のがっこう				
		公表日 2026/1/16				
チェック項目		はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など		課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1		児童発達支援や放課後等デイサービスを本事業所で利用くださっている方のみなため、療育で使用している教材を実際に持参してみていただいている、使用している補助具をお渡しして学校や園でも使用していただくようにしています。	訪問先の先生に口頭のみではなく、実際の現物を見ていただきながら説明していくなど分かりやすい支援ができるよう今後も配慮していきます。	
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1		1人1時間以上確保できるよう1名の職員で対応できる範囲での訪問となるよう調整しています。	職員数が少ないため、希望通りに訪問が実施できない場合もあり、職員の確保や、時間内で訪問できる場所の取り方に注意していきたいと思います。	
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1		訪問後、園での様子を全職員で共有するようにしています。	職員で共有していくことで、アイディアなどを出し合うことで、一番良い支援方法を提供していくようにしています。	
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1		保護者の意向をしっかりと汲み取り、職員間で話し合いをおこないながら、訪問支援につなげています。	訪問後の振り返りを保護者の方としっかりとおこなっていくよう業務改善を図っていきます。	
	5 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1		ほぼ1名訪問員がおこなっているので、抱え込まないよう支援方法を全職員で考えていくようにしています。	訪問の頻度や効率の良い訪問方法等の工夫をしながら職員の負担軽減につながる絵でいきたいと思います。	
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1		第三者委員による外部の評価はお願いしておりませんが、別の事業所等の出入りが多くご意見をいただく機会は多くあると考えています。	必要があれば、外部の評価を第三者委員にお願いしていこうと思います。	
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1		訪問に特化した研修はしておりませんが、今年度初めて園域での保育所等訪問支援事業に関する会議をおこなっていくこととなり参加させていただきました。	園域の保育所等訪問支援員同士での意見交換や質の向上を目指した研修会等を開催していくことができるよう別事業所と協力して実施していきたいと考えています。	
適切な支援の提供	8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	1		保護者のニーズと園の先生との話を含めて個別支援計画を作成するように努めています。	園で過ごしやすい環境を園の先生と一緒に考えていくながら整えていくことができるような支援力をつけていきます。	
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1		職員数が少ないことがメリットなので、全職員と一緒に支援方法を考えたり、共通理解をしたうえでの計画作成ができます。	今後も計画の中に、保護者や子どもの思いを共有しながら必要な支援が提供できるようこころがけていきます。	
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1		園長先生や担任の先生からしっかりときくことができるています。	今後も連携した支援となるようこころがけていきます。	
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1		計画作成のときは職員と再評価をしたあと、保護者の意向等も踏まえた後会議を開催しそれぞれの意見を集約するように努めています。	今後も、みんなの意見が反映された個別支援計画となるよう留意しながら作成に携わっていきます。	
	12 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1		必要があれば、観察するために表の記入等も作成し、行動観察に活かしていますが、担任の先生方の負担にならない訪問支援をこころがけています。	今後も園や小学校先生方の負担にならない支援方法を考え提供していかなければと思っていました。	
適切な支援の提供	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	1		先生にとってわかりやすい支援となるようこころがけています。	今後も分かりやすくお伝えしていきながら支援を提供していきたいと思います。	
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1		支援計画に沿った支援となるよう職員間での共有をおこなっています。	今後もチームの連携を大切に支援の提供にあたっていきます。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1		前日に話し合うことが多いです。	少ない職員人数のメリットを活かして今後もチームでの連携を大切にしていきます。	

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	訪問後職員間で、子どもの様子等を全職員に共有することができています。	園での様子を共有することで、訪問職員以外の職員が、親子のがうこうでの療育の中での支援とたらし合わせたり修正や改善することができるよう全職員で話し合うことを大切に時間を確保していきます。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	1	訪問施設へ失礼のないようまた、お邪魔にならないよう配慮しています。	訪問させていただける園や小学校の思いを大切に、訪問させていただきます。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	1	訪問時には先生方や子どもたちの邪魔にならないよう小さなメモを持参し、後日保護者の方に記録を読んでいただきながら口頭での説明もおこなっています。	支援の方法や園での様子をわかりやすくお伝えすることができるよう今後も努めています。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1	毎回訪問後に保護者の方に様子を伝えることができ、園の先生と話をしたことを共有するようにしています。	訪問前後での保護者の方としっかりお話をする機会を今後もつくっていきます。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	全利用児の様子や状況を把握できるほど、職員間での共有がでているため、児童発達支援管理責任者が会議に出席することが多いです。	会議等での課題や別事業所での様子の共有も含め、職員間での子どもの状況の把握に今後も努めています。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	必要に応じて様々な機関と連携を図ることができます。小学校や園の先生とのつながりも増えてきました。	今後も必要に応じた連携を図りながら支援をおこなっています。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	訪問で伺っている園に、小学校の先生もきていただいて、直接支援方法等の引き継ぎをおこなわせていただくなど、現段階での状況を分かりやすくお伝えできるよう心がけています。	ご家族が安心して次のライフステージにうつっていくことができるようサポートしていくたいと考えています。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	必要に応じて別事業所の先輩方に分からることを教えていただいたら、助言をいただいている。	スキルを高めていけるような研修や勉強を今後もしていきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	圏域での訪問支援の集まりをつくることができ、微力ながらもお手伝いさせていただきました。	今後は、訪問に直接かかわっている支援員同士での意見交換であったり、スキルの習得等話し合える場を作っていくたと思っています。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	1	訪問前に、最近の園での様子や、保護者がみてきてほしい場面を聞き取り、訪問後にお伝えすることができます。	利用回数の少ないお子さん等抜けがないようにお伝えすることができるようチェック表等活用していきます。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	訪問支援の中では、園の先生に対して助言をおこなっていますので、保護者の方に対してのプログラムは実施しておりません。	園の先生がすぐにできそうな支援をお伝えすることができるよう、スキルアップを目指していきます。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	契約時に必ず、書面と口頭での説明を丁寧におこなうようにしています。	保護者の方に伝わっていない評価もいただいておりましたので、丁寧な説明をこころがけていきます。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	1	相談支援事業所との担当者会議の中でお伝えすることができます。	今後は終了の目途等見通しをもった説明に心がけていきたいと思います。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1	計画の作成にあたって保護者、支援員、園からの聞き取りを踏まえ作成するようにしています。	今後も関わっている人みんなからの意見をききながら思いを組みこんでいけるような計画にしていきます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	1	書面で見せながらの口頭説明をするように心がけ、想定できる実際の場面でのイメージがわくような伝え方をしています。	丁寧な説明を今後もこころがけていきます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1	訪問を利用されている方はみなさんが、個別療育を利用されているため、利用の度に話を聞くようにしています。	話しやすい、相談しやすい関係性を今後もつくっていきます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	訪問支援を利用されている方での保護者会等の企画はしていません。	今後保護者の方からご希望があれば検討していきます。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1	電話、こちらに来所してくださっての相談、メール等どんな形の相談にも対応できるようにしています。	相談に丁寧に対応することを今後もこころがけ、保護者の方から頼りにしているだけの存在でありたいです。

	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	1		訪問の通信やHPでの掲載等はしておりません。連絡等は保護者個々でのやりとりをさせていただいております。	保護者の方からご要望があれば検討していきたいと考えています。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1		パソコン等個人情報が入った機材等を訪問先にもっていくことはせず、必要なところだけをプリントアウトして持参するようにしています。	今後も個人情報に留意するように努めています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1		分かりやすく伝えることや、メモで渡すなどその都度利用者さんによって伝達方法の工夫をしています。	今後も分かりやすい丁寧な支援をこころがけています。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	1		対象利用児以外の相談にも訪問時間後にのるようになっています。	園や小学校の困り感やニーズに合わせた支援の提供を今後も実施していきます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1		訪問時間終了毎に、子どもの様子や担任の先生とお話しした内容を園長先生に伝えるようにしています。	しっかりと連携がとれ信頼関係を築いていきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1		親子のがっこうに次こられたときに、園での様子や支援方法など園の先生と共有した内容をお伝えしています。	今後も、分かりやすくイメージしやすいような説明をこころがけていきます。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1		パソコン等個人情報が入った機材等を訪問先にもっていくことはせず、必要なところだけをプリントアウトして持参するようにしています。	今後も個人情報に留意するように努めています。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	1		相談支援事業所との担当者会議の中でお伝えすることができています。	今後は終了の目途等見通しをもった説明に心がけていきたいと思います。
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1		訪問時は、園の指示に従い対応していきます。	訪問している職員との連絡調整等発生を想定した話し合いやマニュアルの見直しをおこなっています。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1		送迎等は訪問で実施していませんが、職員の訪問先までの運転には十分注意して走行できるよう余裕をもって移動時間を考えていました。	あわてず訪問先までいけるよう余裕を持った時間配分をしながら安全運転を心がけていくよう再度周知をおこなっています。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1		訪問先での対応時のヒヤリハットをまだ意見としてでていませんでした。	訪問先での対応時のヒヤリハットをまだ意見としてでてきていないので、来年度からは、訪問でのヒヤリハットも検討していきます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1		訪問先では、園の先生と子どもの関わり場面を見ることが多く直接的な関わりの中での虐待につながるようなケースはみられません。	小学校や園訪問の中で虐待に対する意識を持ちながら支援にあたっていきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1		危険な行為等があった場合は制止を促す場面が園の中でもみられます、保護者の方にも報告をし、親子のがっこうで気持ちのコントロール等の練習をしていくようにしています。	療育と訪問が連携しておこなえるよう、保護者のご意見や、子どもの気持ちを踏まえながらよりよい支援ができるよう今後も関係性を構築していきます。